

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

## > **さいたま市立** >>>>>>>>>> **北浦和小学校**

本校は、75周年を迎えた地域と共に歩む学校です。

- 1 「進んで学び 高め合う 北小の子」学校教育目標のもと、伝統と創造、日本の若い力を育てる学校を目指します。
- 2 「あかるく なかよく すこやかに」を合い言葉として、よく考え、進んで学ぶ子、心豊かで思いやりのある子、明るく健康でたくましい子を育てます。
- 3 「感謝と貢献」一人ひとりが幸せになる学校を経営理念とし、教育活動を推進していきます。

■所在地：さいたま市浦和区北浦和小学校 ■電話：048-831-2463  
■FAX：048-835-1352 ■交通：JR 北浦和駅東口 徒歩 6分

### 0 1 総合的な学習の時間を通して、育てるボランティアマインド



4年生では、総合的な学習の時間に「福祉」について学習しています。体の不自由な人の目線に立ち、白杖体験、車いす体験を行いました。体験をした児童たちは、初めての感覚や普段歩いているところが不便になっていることに気づき、みんなで気持ちよく過ごすためには、どうすればよいのかを考えることができました。児童一人ひとりが、自分と周りの人たちが共に過ごすための工夫をまとめた発表を考えています。差別することなく社会生活の中で支え合い、一人ひとりが生きる喜びを感じることができるよう「ともに生きる力」育てていきたいと思えます。

### 0 2 夢のある未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成



本校では、さいたま市教育委員会の委嘱を受け、平成29、30、31年度に体育科、特別活動を通してオリンピック・パラリンピック教育の研究を推進しました。東京オリンピックのマスコット候補について議論したり、東京パラリンピックを目指す選手を招き、義足体験を行ったりしました。研究テーマのもと授業実践を重ね、「スポーツの価値」「多様性の尊重」「ボランティアマインド」「日本文化への関心」「豊かな国際感覚」を育みながら、児童が主体的・対話的に学ぶ授業を追究してきました。令和2年度そして今年度はその研究を生かし、さいたまSTEAMS 教育の研究を通じ、自分の思いや考えを伝え、学び合う力を伸ばすための研修を行っています。

### 0 3 毎日の食事をしっかりと食べることが、世界を変える第一歩



10月16日の「世界食糧デー」に合わせて、給食委員会の児童によるお昼の放送で「十分な食事が食べられていない人を救うための食事をできるだけ残さず食べよう」という呼びかけを実施。さらに、食品ロスによる環境への負荷が干ばつや洪水などの異常気象を起してしまうことも紹介しました。

また、本校の広報誌において、「食品ロス」をテーマに、7月に残された残菜量を紹介させていただきました。学校の残菜をなくすためには、一人ひとりが「もう一口だけ」食べればよいのだという気づきにつながりました。10月19日の「地産地消の日」には、さいたま市内で収穫された米と小松菜を使った給食を提供しました。給食の時間に、栄養教諭が各学級を回り、さいたま市の農家さんが作ってくれた米と小松菜を使用していることを説明すると、児童は「おいしいね」と言って食べていました。今後も地産地消を意識したおいしい給食を通して食品ロスについて考え、減らしていけるよう、工夫した取組を行っています。

